

## 学校法人稲置学園「2024年度事業計画」

学校法人稲置学園（以下「学園」という）では、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を具現化するため、2009年度に第1次の5ヶ年中期計画を開始し、2017年度よりは、学生・生徒・園児、保護者等の多様なニーズや社会・経済情勢等の変化に迅速に対応するために毎年見直し・策定する方式の第3次中期計画へと移行した。

これまでの中期計画では、大学の人文学部や中高一貫理数コースの開設、幼稚園の認定こども園への移行、社会のデジタル化・AI化への対応の検討、ガバナンス確立のための組織体制整備などに取り組んできたものとなる。

しかし2020年に始まる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等のグローバルかつ急激な社会変化、加速する少子化、エネルギー問題、環境問題などの課題が山積する国内外の情勢において、これまでの延長線上では学園の将来像を確立するのは容易ではない状況となっている。

特に少子化が教育機関に直接的かつ重大な影響を与えることは避けられない。人口動態統計速報値では2023年の出生数は75万8631人となっただけでなく、婚姻数は48万9281組で戦後初めて50万組を下回り、今後のさらなる出生数減少が確実視される。

学園が地域社会・ステークホルダーから支持される教育機関として持続可能な経営基盤を構築するためには、多様化する社会が求める人材を育成するためのカリキュラムや教育環境の再構築等により、教育の質保証・充実・発展に努めていく必要がある。

具体的には、高等教育分野においては他者に比肩する理学・工学・農学等の自然科学系領域への進出を検討することであり、中等教育分野においては北陸の中高一貫6年教育を先導するための研究開発・成果の向上による探究力育成である。そして幼児教育分野においては幼保連携6年教育・保育モデルの確立が必要である。

もっとも、その実現には、役員・教職員の意識変革及び働き方改革が必要である。学園の教育・研究及び業務のそれぞれにおいて改革・改善を進める手段として、飛躍的な進歩を遂げているAI技術を適切かつ効果的に活用するDXも不可欠な要素となる。

一方、学園財政においては人件費の増加、資源価格高騰に伴う消費者物価の上昇等により支出は増大しており、改革・改善を進めるために不可欠な財政基盤の安定性に厳しさが増している状況にある。

しかしながら学園が持続可能な教育活動を行うためには、この状況に「困難」を見出すのではなく「好機」と捉えて、役員・教職員が一体となり教育の質の保証・向上に努力を重ねることで盤石な財政基盤の確立に取り組まなければならない。

また、2025年4月に施行される「私立学校法を一部改正する法律」にて学校法人のガバナンス強化及び外部評価が更に厳しくなることから、公共性と自主性をより一層重視した組織体制の確立に努める必要がある。

学園では、これらの課題を踏まえた上で2024年度を起点とする5ヶ年の第4次中期計画を新たに策定し、「幼児・中等・高等教育の各分野で全国的な評価を得ている総合学園となる」という学園長期ビジョンを掲げ、持続可能な経営基盤確立の第一歩を踏み出す。

本中期計画では「学園全体のガバナンスとマネジメントを確立し、経営機能と教学機能を緊密に連携した組織となる」という全体目標のもと、部門毎に以下の中期計画目標を定めた。

#### 【大学】

- ・自然科学・応用科学領域をカバーする新学部構想について検討する。
- ・特色ある星稜“STEAM-D”教育の推進により、幅広い学生の多様な学びと成長を実現する。
- ・能登半島の創造的復興とともにあゆみ、地域創生に貢献する全学的な取り組みを推進する。

#### 【短期大学部】

- ・大学と連動して、自然科学・応用科学領域をカバーする新学部への入学定員転換を実現する。

#### 【中学・高校】

- ・中高一貫を基本とする中等教育体制を確立し、教育方針に沿った志願者・入学者を確保する。

#### 【幼稚園】

- ・金沢エリアでオンリーワンの乳幼児保育・教育を実現する。

#### 【法人部門】

- ・柔軟な組織運営と確実な業務遂行体制を確立し、発展と成長を可能とするための変革型組織風土を形成する。

2024年度事業計画では、学園長期ビジョン実現を目指す第4次中期計画の初年度として、各部門が重点的に取り組むべき内容を以下の通りにまとめたものである。

---

### 【金沢星稜大学】

#### ① 自然科学・応用科学領域をカバーする新学部構想の検討

[取組方針] 未来を支える人材を育む大学等の機能強化の下、新しい分野への教育研究の展開を見据え、大学規模の維持及び適正規模の調査・提案、新学部の設置を検討する。

-----  
[期待効果] 新学部の設置と既設学部等の改組を見据えた調査、企画提案等を行うことで、特色ある学部・学科づくり並びに大学の発展・充実及びブランド力の再構築につなげることができる。

#### ② 星稜“STEAM-D”教育の推進

[取組方針] リベラルアーツと数理教育を軸として、先進的な情報技術を積極的に活用し、専門教育と教養教育を、STEAM-Dのコンセプトのもと有機的に関連させた教育を推進する。

.....  
[期待効果] 学生の将来の可能性を広げ、より良い社会を築くための力が育まれるとともに、教育内容と教育方法の発展と深化が図られる。

### ③ 教育の内部質保証体制の構築

[取組方針] 「学修成果の可視化」を中心とした教育の質保証システムの整備並びに学生の主体的な学び(アクティブラーニング)を充実させるための体制を構築する。

.....  
[期待効果] 学生の学修成果の評価に基づき、教育の内容や方法が改善され、教員の教育及び学生の学修能力の向上が図られる。

### ④ グローバル人材育成および大学のグローバル化推進

[取組方針] グローバル人材育成のための留学制度と外国人留学生に対する環境整備(海外協定校短期留学生の開拓と関係強化)の充実を図る。

.....  
[期待効果] グローバルな視野を持った人材の育成と双方向の留学生交流が充実する。

### ⑤ 学生募集活動(入試)の戦略的運用

[取組方針] アドミッション・ポリシーに則した学力の3要素を多面的・総合的に評価する入学者選抜制度の運用と併せ、学生募集にかかる分析と戦略立案機能、広報機能を強化する。

.....  
[期待効果] 急激な少子化の中であっても、適切な入学者選抜に必要な志願者数を維持し、適正な入学者数が確保できる。

### ⑥ 産学地域連携活動の推進

[取組方針] 産学地域連携の支援体制の構築と地域連携センターの機能の拡充(SDGs 推進)を図り、「金沢星稜大学産学地域連携ポリシー」に即した事業を推進するとともに、令和6年能登半島地震における震災復興支援活動に取り組む。

.....  
[期待効果] 自治体、企業等多様な主体との連携を強化し、地域の発展に貢献できる人材の育成と地域における人材育成機関としての役割を果たすことができる。

### ⑦ 研究活動の高度化

[取組方針] 科研費や外部資金獲得率向上に向けた体制等の整備と Research map との連携・充実と併せ、新たな産学連携受託事業や共同研究の仕組み作り並びに間接経費や研究費管理システムの運用に着手する。

.....  
[期待効果] 外部資金の獲得件数、共同研究の依頼件数及び奨学寄付金申し出や受託研究の件数の増加が見込めるとともに、創出した知的財産を社会に還元することで本学の存在価値を高め、教育研究から社会貢献までの好循環が生まれる。

### ⑧ 学生生活の質向上 ～「絆キャンパス」計画～

[取組方針] 「多様な学び」のハブとしてのキャンパスの環境整備並びに入学から卒業までの総合的な学生支援活動を強化するとともに、能登半島地震の震災を経験した学生の心のケアとソーシャルサポートを推進する。

.....  
[期待効果] 学生がキャンパスに「居場所」を見出し、キャンパスが学修と課外活動等の拠点として機能することと併せ、障害のある学生や震災を経験した学生に、必要な合理的配慮の提供が行われる。

### ⑨ 進路支援体制の整備と発展

[取組方針] 就職・キャリア形成のための支援体制を充実させ、民間企業の名目就職率及び公務員・教

員・保育士の合格率並びに就職先の満足度及び進路支援に対する満足度の向上と併せ、リカレント教育推進のための環境整備を行う。

[期待効果] 学生一人ひとりに即した就職・キャリア形成が図られるとともに、社会人や企業等のニーズに対応したリカレント教育の支援体制が整備される。

---

## 【金沢星稜大学女子短期大学部】

### ① 適正な入学定員の検討

[取組方針] 短期大学を取り巻く厳しい運営状況を踏まえ、入学定員の減員を検討し、経営規模の適正化とともに、教育内容の質の向上を図る

[期待効果] 入学定員及び収容定員の充足率を 100% に近づけることにより、私立大学等経常費補助金・一般補助や修学支援制度への対応を含め適正な運営が図られ、引き続き多様な職業教育や大学編入の機能を備えた地域に密着した高等教育機関としての役割を果たす。

### ② 金沢星稜大学の新学部設置に合わせた入学定員配置の再編の検討

[取組方針] 併設校の金沢星稜大学の自然科学・応用科学領域の新学部等設置検討にあわせ、金沢星稜大学と一体となった当該 DX・GX 等の成長分野への入学定員の配置の再編を検討する。

[期待効果] リベラルアーツ、数理教育などの幅広い教育を通じて、金沢星稜大学と一体となって DX・GX 人材育成機能を担う機関としての役割を担うとともに、学園の高等教育における人材育成や学生の受入れなどに関し、社会の変化と価値観の多様化に応じ、それぞれの機能を生かした運営ができる。

### ③ 本学の教育資源の有効活用

[取組方針] 金沢星稜大学と密接に連携しながら、学習ニーズを把握した上で、基幹教員制度などを活用して専門知識やスキルを持った本学教員などの教育資源を有効に活用した教育プログラムを展開する。

[期待効果] グローバル化の進展と産業構造の変化の中で職業や職種が多様化しており、本学の人材育成が、金沢星稜大学の教育ニーズに照らして積極的に取り組まれる。

---

## 【星稜中学校・高等学校】

### ① 新たな中高一貫教育実現に向けた総合的な体制の確立

[取組方針] 持続可能な中等教育の基盤を構築するため、新たな中高一貫6年教育および高校3年教育を確立し、特色ある教育・研究活動を含めた新たな教育課程を構築する。

[期待効果] 新たな中高一貫教育校としての教育システムと高校 3 年間における教育プログラムを内外にアピールすることにより他校との差別化を図り、安定した志願者・入学者の確保につなげる。

### ② 高校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定と運営

[取組方針] SSH 指定校として、学校全体で教科を横断して組織的に取り組むことにより生徒の科学的・論理的思考力を育み、次世代の課題解決に貢献する人材を育てていく。

[期待効果] 新たな中高一貫教育体制に SSH が高い付加価値を加え、魅力ある特色教育の実践が可

能となる。また、他校および地域の方への研究発表を通して交流を深める取り組みが本校の探究実績を広く普及させ、効果的な生徒募集および学校の活力維持につながる。

### ③ 中学研究開発学校の指定と運営

[取組方針] 中高一貫教育の前半となる中学 3 年間に於いて、協働的な学びや個別最適な学びを実践し自身の興味関心や個性を認識させることにより高校につながる探究活動の基礎力を育成する。

[期待効果] 北陸地区の私立中学校では初となる研究開発学校の指定を受け、新たなカリキュラム研究を行うとともに高校 SSH と並ぶ本校の特色教育の目玉として他の中学校との差別化を図り、中学受験層の拡大と志願者増加につなげる。

### ④ 生徒の進路支援体制の強化

[取組方針] 生徒が学習に向かう動機付けを自律的なものへと導き、より高い進路を志望するきっかけとなることを期待する。多くの教員が多面的に生徒を支援する機会を増やすことにより精神的な安心感を与えることにつながる。

[期待効果] 生徒が学習に向かう動機付けを自律的なものへと導き、より高い進路を志望するきっかけとなることを期待する。多くの教員が多面的に生徒を支援する機会を増やすことにより精神的な安心感を与えることにつながる。

### ⑤ 中高総合寮における学習支援体制と管理運営体制の確立

[取組方針] 中高総合寮を教育・学習指導の場として再構築し、入寮生の選抜および規律の遵守と運営管理体制の強化を図る。

[期待効果] 新たな中高一貫 6 年教育と高校 3 年教育体制による特色ある教育を実践する中で、より広範囲な地域から多様な生徒を受け入れる体制を整備するとともに、寮内での学習指導や塾等の外部連携によるダブルスクールの導入等により本校進学への付加価値を高める。

---

## 【金沢星稜大学附属星稜幼稚園】

### ① 園児の確実な定員確保と、そのための広報展開の充実

[取組方針] ホームページの整備と運用等広報活動を通じて、保護者や地域の方が求める情報を的確に配信し、星稜幼稚園に対する興味を喚起する。妊娠中から参加できる子育て支援を実施する

[期待効果] 広報活動により、星稜幼稚園の存在を広く知らせることができ、星稜子育てステーションの参加人数が現行よりも増加し、その結果として星稜幼稚園への関心が高まる。

### ② 幼稚園運営の将来構想の確立

[取組方針] 施設改善計画も含めた特色ある教育プログラムを開発し、他施設との差別化を図り、持続可能なオンリーワンの乳幼児施設となる

[期待効果] 星稜幼稚園、星稜泉野幼稚園の特性や強みを活かした個性的で魅力的な特色ある教育プログラム開発と施設改善により安全かつ快適な環境を提供することで入園希望が増える。

### ③ 幼保連携した 0 歳からの 6 歳までの教育・保育モデルの確立

[取組方針] 主体性を尊重した教育課程を再構築し、特色あるプログラムを確立し保育実践の質を向上させる。また、教職員の研究・研修参加を推進し保育実践の質の向上を図る。

.....  
[期待効果]新しい教育課程と理念の浸透と教職員の積極的な研究・研修参加により保育実践の質が一層向上し、子どもたちが魅力を感じ、学びが促進される環境が提供される。

#### ④ **教育・保育の質の向上のための人づくり・組織づくり**

[取組方針]働く教職員にとって存在し続ける価値がある組織を形作り、優れた保育を実践するために、人と組織の活性化を追求する。

.....  
[期待効果]組織の魅力が高まり、教職員のやりがいと成長の機会が増える。

#### ⑤ **卒園児受入れを視野に入れた学童保育開設の検討**

[取組方針]利用者は、星稜幼稚園の卒園児のみとし、課外活動の継続をはじめ教育理念を継承したプログラムを提供する。

.....  
[期待効果]星稜幼稚園が運営する学童保育は、保護者が安心して子どもを預けられ入園希望者が増える。

---

### **【金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園】**

#### ① **園児の確実な定員確保と、そのための広報展開の充実**

[取組方針]ホームページの整備と運用等広報活動を通じて、保護者や地域の方が求める情報を的確に配信し、星稜泉野幼稚園に対する興味を喚起する。妊娠中から参加できる子育て支援を実施する

.....  
[期待効果]広報活動により、星稜泉野幼稚園の存在を広く知らせることができ、泉野子育て広場の参加人数が現行よりも増加し、その結果として星稜泉野幼稚園への関心が高まる。

#### ② **幼稚園運営の将来構想の確立**

[取組方針]施設改善計画も含めた特色ある教育プログラムを開発し、他施設との差別化を図り、持続可能なオンリーワンの乳幼児施設となる。

.....  
[期待効果]星稜泉野幼稚園、星稜幼稚園の特性や強みを活かした個性的で魅力的な特色ある教育プログラムを作成し実施することで入園希望が増える。

#### ③ **幼保連携した1歳からの6歳までの教育・保育モデルの確立**

[取組方針]主体性を尊重した教育課程を再構築し、特色あるプログラムを確立し保育実践の質を向上させる。また、教職員の研究・研修参加を推進し保育実践の質の向上を図る。

.....  
[期待効果]新しい教育課程と理念の浸透と教職員の積極的な研究・研修参加により保育実践の質が一層向上し、子どもたちが魅力を感じ、学びが促進される環境の提供がされる。

#### ④ **教育・保育の質の向上のための人づくり・組織づくり**

[取組方針]働く教職員にとって存在し続ける価値がある組織を形作り、優れた保育を実践するために、人と組織の活性化を追求する。

.....  
[期待効果]組織の魅力が高まり、教職員のやりがいと成長の機会が増える。

---

## 【経営管理部(総務課)】

### ① 補助金獲得体制の構築

[取組方針] 補助金受給率向上のための戦略立案及び組織横断的な事業体制の構築に取り組む。また数値目標として、具体的な「補助金受給目標率」を設定する。

[期待効果] これまで属人的かつ場当たりの行われてきた補助金事業において、具体的な数値目標及び共有化された戦略に基づき事業活動ができる体制を整えることで、大学・短大執行部と法人部が一体となり、補助金事業における課題解決に計画的かつ主体的に取り組むことが期待できる。

### ② 規程の整備・改廃及び制定

[取組方針] 「規程管理委員会(仮称)」の設置準備を進める。また並行して、「新規規程管理システム」を導入する。

[期待効果] 一部正常な操作ができない現規程管理システムから、「新規規程管理システム」へ移行することにより、適正かつ遺漏のない規程管理業務体制を構築する。また、2025年度からの運用開始を見据え、「規程管理委員会(仮称)」の設置準備を進めることでガバナンス強化を図る。

### ③ 私立学校法改正への対応

[取組方針] 2025年4月1日施行の「私立学校法の改正」に合わせ、寄付行為の改正、各種規程の整備・改廃及び制定等を行う。

[期待効果] 「私立学校法の改正」に基づきながら、本学園の建学の精神や将来構想等を踏まえたガバナンス体制の構築を実現する。

---

## 【経営管理部(財務課)】

### ① 津幡新キャンパスの利活用計画策定

[取組方針] 新キャンパスの造成工事推進と利活用計画策定に取り組む。

[期待効果] 新たなキャンパスの整備を推進し、学園将来ビジョンの実現を具体化させる。

### ② 光熱水費抑制策の継続

[取組方針] 全学園でエネルギー使用量の削減に取り組み光熱水費を抑制した学園運営を継続する。

[期待効果] 経費削減により財務の健全化を図る。

### ③ 教育施設の新增改設

[取組方針] 星稜未来構想プロジェクトに基づき中高側との議論、協議を踏まえて教育施設の整備を進めていく。

[期待効果] 教育施設の新增改設により、中高一貫教育の充実、活性化を図る。

### ④ 学園キャンパス用地(校地)における借地解消

[取組方針] 2022年度に常務理事会にて提起された借地解消(購入)方針に基づき、恒常的に使用している土地の購入交渉等を能動的に実施する。

---

[期待効果]借地解消することにより学園経営の安定性・継続性を担保する。

---

## 【経営企画部(経営企画課)】

### ① 将来構想(Seiryovision110)第1版の策定

[取組方針]学園創立 110 周年に向けて、あるべき学園像とその実現に向けた成長と改革の道のりを学園の全構成員で認識共有するため、第4次中期計画期間内に段階的に策定する。

[期待効果]将来ビジョンを策定し共有することにより、目標達成に向けてやるべきことを明確化することができる。

### ② 事業計画におけるPDCA体制の確立

[取組方針]事業計画に基づき事業の進捗確認及び実施内容の点検評価を行う。

[期待効果]事業の進捗状況を確認し、到達目標達成に向けた点検評価を行うことで、年度目標の達成に寄与できる。

### ③ 「星稜DX戦略」の策定

[取組方針]学園将来ビジョンの実現に向け、学園全体を対象とした新しい教育・研究・業務・経営の在り方を再構築するための「X:Transformation(変革)」を、「D:Digital 技術及び Design 思考」を活用して実現していくための方針を「星稜DX戦略」として新たに策定する。

[期待効果]学園のDX推進について、方針を明確にできる。また、DX推進により教育の質の向上や業務の生産性向上等が期待できる。

### ④ 経営IR体制の推進

[取組方針]経営判断に資する学内外の各種データを収集・正規化・構造化し、必要な時に柔軟に活用可能な体制を整えるとともに、データに基づく情勢認識、分析レポートを作成可能な業務体制を整える。

[期待効果]学園経営上の検討・判断に資する客観データ及び分析レポートを作成することで、適切な経営判断を支援することができる。

---

## 【経営企画部(人事課)】

### ① 働き方改革の推進

[取組方針]業務の在り方を見直し、各種制度等の充実を図る。職員の健康を維持するためにも長時間勤務を是正し、ワークライフバランスにより日常生活の充実を実現させるために、各所属とともに検討と取り組みを行う。

[期待効果]職員にとって、意欲的で働き甲斐のある職場となることで、業務の質的向上と生産性の向上が期待でき、教育研究の充実と健全な経営につながる。

### ② 新たな人事制度の導入及び検証

[取組方針]制定した人事評価制度規程に基づき一連の業務を実施する。さらに新たな課題・改善点を把握し、完成度を高めるための対策を講じる。

---

[期待効果] 職員の能力・情意及び達成した業務実績等を適切に評価し、職員の能力を最大限に発揮させ、人員配置や適格者の昇格・昇任等による人材の有効活用を図る。

### ③ **人材育成プログラムの構築**

[取組方針] 学園が求める各職位・職階で必要とされる知識・スキル等の修得のほか多様な分野で活躍できるよう人事評価制度規程に基づく、人材育成プログラムを運用する。

[期待効果] 職員一人ひとりの資質と能力の一層の向上により職員自身の成長が期待でき、その成長が本学園の発展に繋がり、教職員にとっても働きがいと誇りを持てる職場となることが期待できる。

### ④ **5カ年任用計画の策定**

[取組方針] 本学園のビジョンや目的を達成するため、業務整理及び人材育成等の取り組みの上に、適正な職員の人数を明確化し、計画的な任用を定める。

[期待効果] 適正な職員数により業務効率化を図り、計画的な任用を行うことで、健全な経営に寄与する。

---

## 【経営企画部(危機管理室)】

### ① **災害時の危機管理への対応強化**

[取組方針] 災害時における BCP(事業継続計画)を策定するとともに、職員及び学生等による防火防災訓練等の実施により、災害時における危機管理対応を強化する。

[期待効果] 災害時における混乱の防止と被害の軽減を図り、教育現場の継続・早期回復を図るとともに職員の安全確保に資する。

### ② **情報管理のリスク低減**

[取組方針] 本学園が保有する個人情報・特定個人情報等を適切に管理するため、組織的・人的・物理的な安全管理策を定め、必要かつ適切な措置を実施する。

[期待効果] 個人情報・特定個人情報等の漏えい、滅失、毀損等を防止する。

### ③ **コンプライアンスの徹底**

[取組方針] 本学園の事案、事故を未然に防止するため、コンプライアンスに係る規則等の整備及び教育・研修を実施する。

[期待効果] 学園の教職員として遵守すべき法令等を周知し、不祥事案等を未然に防止する。

---

## 【情報システム部】

### ① **DX 推進のための安定した基盤整備・環境整備**

[取組方針] 大学・短大においては教育環境充実に向けた情報設備の整備としての情報演習室整備の実施及び Wi-Fi 環境並びにインターネット回線の増強を行う。また、学生用複合機の更新の検討を開始する。

[期待効果] 継続した情報環境整備を行うことで、学園、キャンパス内で PC やタブレットを活用した学びや自学自習、学生生活、就職活動などが行いやすい環境となる。

## ② 情報セキュリティ対策事業

[取組方針] IT 資産管理ツールの導入や教職員のリテラシー、セキュリティ教育の継続的な実施を学園全体のセキュリティレベルの向上を図る。

[期待効果] 職員の情報セキュリティに関する意識向上が期待されるほか、IT 資産管理ツールの導入によって、単なるライセンスコンプライアンス管理だけではなく、IT 資産に関する運用コストの可視化にもつながる。

## ③ 学園業務情報化戦略の策定

[取組方針] 学園業務情報化戦略は、学園全体の将来ビジョンおよび5年後の目標を踏まえ、法人業務、教育研究業務の業務改善や DX、働き方改革にもつながる学園全体の情報化構想として、BCP(事業継続)も含めて整備をおこなう。

[期待効果] 法人業務、教育研究業務の業務改善や DX、働き方改革にもつながる。情報関連の BCP については、事業の停止や情報資産の喪失といったリスクの低減が図られる。

## ④ IT 内部統制とガバナンス強化の取り組み

[取組方針] 学園全体で情報システムを最適な設備投資計画のもとで構築し、セキュリティ維持とコンプライアンスに従い健全に運用する。

[期待効果] 情報システムが職務権限に従った意思決定または承認プロセスを経て設計構築され、適切な権限で PDCA に則した統括管理体制のもとで運用される。

以上